

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	主要地方道 <small>あなんとうえい</small> 阿南東栄線				
事業箇所	<small>きたしたら とよね しもくろかわ</small> 北設楽郡豊根村下黒川地内				
事業のあらまし	<p>主要地方道阿南東栄線は、長野県阿南町から北設楽郡東栄町に至る延長 34 km の路線であり、一般国道 151 号と平行して、沿道集落と豊根村役場及び東栄町役場を結ぶ、三河山間地域の暮らしを支える重要な道路である。</p> <p>当該区間は第 2 次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある一方で、地形が急峻であり、道路線形が悪く、縦断勾配も急であることから、山間地域における拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっている。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」、「地震・津波対策の強化」を主な目的として、当地域の交通の円滑化及び緊急輸送道路の信頼性の向上のため、主要地方道阿南東栄線の現道拡幅整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>②地震・津波対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2019 年度)	再評価時 (2024 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2020 年度 ～2033 年度	2020 年度 ～2033 年度		
	事業費 (億円)	9.6	9.6		
	経 費 内 訳	工事費	7.6	7.6	
		用補費	1.1	1.1	
		その他	0.9	0.9	
事業内容	現道拡幅 延長 0.76km 幅員 7.0m 2 車線	現道拡幅 延長 0.76km 幅員 7.0m 2 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>・山間部における生活道路としての役割を担っているが、1 車線の現道狭隘区間では車のすれ違いが困難な状況である。また、現道は、線形不良で見通しも悪いため、往来する人や車の安全性といった観点からも整備が必要である。</p> <p>②地震・津波対策の強化</p> <p>・当該事業区間は、第 2 次緊急輸送道路に指定されており、災害時における救援物資供給等の迅速な活動を支援するため、機能向上が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>・現道狭隘区間で、線形も不良なため依然として必要性は高い状況である。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み		<p>②地震・津波対策の強化</p> <p>・第2次緊急輸送道路に指定されており、災害時における救援物資供給等の迅速な活動を支援するため、機能向上の必要が依然として高い状況である。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>依然として安全・円滑な交通に支障をきたしており、引き続き整備の必要性がある。</p>																																																																																																																																											
	判定	<p>B</p> <p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <p>線形不良区間における自動車の安全性・走行性の向上の観点から、事業の必要性に大きな変化がないため。</p>																																																																																																																																											
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>2033</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査設計</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="7">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="7">←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="4">3.5</td> <td colspan="6">6.1</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">0.5</td> <td colspan="6">0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4">0.5</td> <td colspan="6">9.1</td> <td>9.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.76</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.76</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.5</td> <td>0.5</td> <td>14</td> <td>9.6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.5</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>7.6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>1.1</td> <td>0.03</td> <td>3</td> <td>2.3</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.9</td> <td>0.47</td> <td>52</td> <td>0.9</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約79%</p>		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	合計	工種区分	調査設計	←→														用地補償	←→														工事							←→							事業費(億円)	当初計画	3.5				6.1						9.6	実績	0.5				0						0.5	今回計画	0.5				9.1						9.6		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.76	0.0	0	0.76	0	事業費(億円)	3.5	0.5	14	9.6	5	工事費	1.5	0.0	0	7.6	5	用補費	1.1	0.03	3	2.3	83	その他	0.9	0.47	52	0.9	52
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	合計																																																																																																																													
工種区分	調査設計	←→																																																																																																																																											
	用地補償	←→																																																																																																																																											
	工事							←→																																																																																																																																					
事業費(億円)	当初計画	3.5				6.1						9.6																																																																																																																																	
	実績	0.5				0						0.5																																																																																																																																	
	今回計画	0.5				9.1						9.6																																																																																																																																	
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																									
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																								
延長(km)	0.76	0.0	0	0.76	0																																																																																																																																								
事業費(億円)	3.5	0.5	14	9.6	5																																																																																																																																								
工事費	1.5	0.0	0	7.6	5																																																																																																																																								
用補費	1.1	0.03	3	2.3	83																																																																																																																																								
その他	0.9	0.47	52	0.9	52																																																																																																																																								
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・完了予定年度に変更なし。</p>																																																																																																																																												
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・地元より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・2033年度までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																																																												
判定	<p>B</p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ○これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p>																																																																																																																																												

		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は順調であり、予定通り 2033 年度までに整備完了が見込まれるため。 		
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度</p>		